

オムニバス講演会—学芸員による研究報告会—

日頃の研究成果の一端を、楽しく解説します

洋学あれこれ Part II

日時：令和2年1月26日(日) 13:30~15:00

会場：津山洋学資料館 GENPOホール
(津山市西新町5)

入場無料

I 日本とオランダ、関係のはじまり

江戸時代、西洋との窓口の役割をオランダが担っていますが、他の国々との関係はどうだったのか、なぜオランダのみとなったのかを整理してみたいと思います。

館長 仁木康治

II 温泉水を化学する

冬といえば温泉。温泉といえば宇田川榕菴です。日本人で最初に温泉水の定性分析を行った榕菴の史料から、日本の分析化学の芽生え“温泉水の研究”をご紹介します。

学芸員 近都兼司

III 江戸遊学の決算書

学問にお金がかかるのは今も昔も変わらない？宇田川榕菴の孫・準一が残した日記の記述から、幕末～明治初期に江戸へ遊学した青年の経済事情をご紹介します。

学芸員 田中美穂



津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

お問い合わせ
〒708-0833 岡山県津山市西新町5番地
☎ 0868-23-3324 <http://www.tsuyama-yougaku.jp>